

■島村速雄 海軍軍人。＜日露戦争＞の日本海海戦直前に的確な判断を進言し、連合艦隊を大勝に導いた。

しまむらはやお
五ヶ国条約・1858＝ 土佐国高知城下本町で土佐藩士の子に生まれる。

桜田門外変・1860＝ 2歳：

大政奉還・・・1867＝ 9歳：
明治維新・・・1868＝10歳：

明治6年政変 1873＝15歳：

三つの内乱・1876＝18歳：

・・・・・・1880＝22歳： 海軍兵学校卒業。
明治14年政変1881＝23歳：

内閣発足・・・1885＝27歳：
中尉のときイギリスに留学した経験を持ち、

帝国憲法発布1889＝31歳：

日清戦争始・1894＝36歳： 日清戦争には常備艦隊参謀として参加、黄海海戦では旗艦松島艦上で戦傷を負う。
戦後にイタリア公使館付武官を務め、

Bushidou・・・1899＝41歳： 大佐に進んだあと、
海軍軍令部第二局長・巡洋艦須磨農長・常備艦隊参謀長・海軍教育本部第1部長・戦農初瀬艦長を歴任。

日比谷公園・1903＝45歳：
日露戦争始・1904＝46歳： *日露開戦に選ばれて第一艦隊参謀長兼連合艦隊参謀長となり、司令長官東郷平八郎を補佐、少将に進み、
日露戦争終・1905＝47歳： *参謀長の職を加藤友三郎に議って第二艦隊司令官となったが、東郷に深く信任され、日本海海戦の前にロシアのバルチック艦隊の行動が不明となったとき、連合艦隊司令部では敵が津軽海峡方面に廻ったものと判断し、まさに出航して北行しようとした時に、鎮海湾での待機を強く進言し、東郷がその意見具申を採用した結果、連合艦隊は対馬海峡で大勝することができた。

アヲヲキ 創刊・ 1908＝50歳： 中將に進み、
海軍大学校長・第二艦隊司令長官・佐世保鎮守府司令長官・海軍教育本部長を経て、
明治天皇没・1912＝54歳： 海軍軍令部長となり、

21ヶ条要求・1915＝57歳： 在職中、大將に進み、
民本主義・・・1916＝58歳： 男爵を授けられた。

大暴落・・・1920＝62歳： 軍事参議官となり、
原敬首相暗殺1921＝63歳：

関東大震災・1923＝65歳： 東京上目黒の自宅で、脳梗塞により*没し、元帥府に列した。